

鹿児島感染制御ネットワーク20年の歩み

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 微生物学分野

西 順一郎

鹿児島ICTネットワーク結成前

年	イベント
1990	「院内感染」富家恵海子（MRSA感染）
1990～	感染症対策委員会
1995	鹿児島大学病院 サーバイランススタッフ会（実働組織）
1998	鹿児島大学病院 感染制御チーム（ICT） 吉永正夫先生 川原元司先生
	バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）消化器外科術後患者2名から分離 2名とも他施設からの転院患者（異なる遺伝子型）→地域連携の必要性
1999	鹿児島県の院内感染対策に関する講演会（鹿児島大学医学部鶴陵会館） 県立北薩病院 野村紘一郎院長 宮原広典先生（ネットワークのさきがけ）
2003	SARS（重症急性呼吸器症候群）
2003～2005	院内感染対策地域支援ネットワーク事業 厚生労働省・鹿児島県・鹿児島県医師会 吉永正夫先生 川原元司先生 渋谷 寛先生 吉満桂子看護師

院内感染対策地域支援ネットワーク事業（2004年度）

概要

院内感染対策の取り組みが遅れている中小病院等に対して、地域における支援体制の整備を図るため、地域の専門家からなるネットワークの構築等により、中小医療機関が速やかに相談・助言できる体制を整備する事業

全国8県（青森、埼玉、静岡、富山、滋賀、岡山、香川、鹿児島）のモデル事業として実施

事業内容

地域の医療機関（特に、独自の感染制御に関する専門家等を有しない中小病院や診療所等）から寄せられた院内感染の予防や発生時の対処方法等に関する相談に対して、各地域支援ネットワークが日常的に対応する。

各地域支援ネットワークは、地域の医療機関からの相談事例について解析・評価を行い、その結果を各医療機関へ還元することにより、地域における院内感染予防対策に反映させる

鹿児島ICTネットワーク設立

2004年6月1日会則施行

代表世話人 吉永正夫先生

事務局 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児発達機能病態学分野
(2015年4月から国立病院機構九州循環器病センター小児科)

第1回学術講演会 2004年7月24日(土) 城山観光ホテル

東北大学 賀来満夫教授

院内感染対策のパラダイムシフト～感染対策地域ネットワーク構築の重要性と今後の課題～

参加者133人(医師63人、看護師45人、薬剤師23人、臨床検査技師2人)

第2回(2005年3月26日) からクローズド・カンファレンス

インフルエンザ院内発症と対策

医師の水痘発症に伴う感染対策の経験して

ノルウェー疥癬の院内感染事例

鹿児島ICTネットワーク

年月	イベント
2004/6	鹿児島ICTネットワーク設立 代表世話人 吉永正夫先生
2005/3	クローズドカンファレンス
2005	鹿児島県医師会 院内感染防止対策相談事業
2006	医療関連感染対策に関するアンケート（鹿児島県医師会）
2007～	MRSA月別検出患者数調査（新規・持ち込み・継続）
2008/1	代表世話人 川原元司先生（川原泌尿器科） 事務局 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児科学分野
2008/6	院内感染防止対策相談事業事例集Q&A（鹿児島ICTネットワーク監修） 発刊
2009	新型インフルエンザパンデミック
2010	感染制御資格のない方の入会に病院長承諾を求める
2011/4	代表世話人 西 順一郎（鹿児島大学小児科→2012から事務局微生物学分野）
2012	加算1施設の相互評価組み合わせの調整
2013	行政の方々のネットワークへの参加

医療関連感染対策に関するアンケート

2006年（平成18年）から8年間連続
鹿児島県医師会の協力で県内全病院（250）を対象
質問紙法によるアンケート、FAXで回答

1/3	
FAX：099-254-8129 県医師会地域保健課行き 9月11日（水）までにご回答をお願いします。	
医療関連感染対策に関するアンケート	
鹿児島県医師会公衆衛生委員会・鹿児島 ICT ネットワーク	
差し支えなければ医療機関名をご記入下さい（ ）	
回答書の様式に○印をお願いします	
〔医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務・その他〕（ ）	
A. 病院についてお尋ねします	
A-1 病床数、職員数についてお教え下さい	病床数〔 〕床
A-2 認定されたインフェクションコントロールドクターがいますか	〔はい・いいえ〕
“はい”と答えられた方にお尋ねします。何人いますか〔 〕人	
A-3 認定されたインフェクションコントロールナースがいますか	〔はい・いいえ〕
A-4 認定されたインフェクションコントロールファーマシストがいますか	〔はい・いいえ〕
A-5 (財)日本医療機能評価機構 病院機能評価の認定を受けていますか	〔はい・いいえ〕
A-6 “はい”と答えられた方にお尋ねします。Ver.は何ですか	〔Ver. 〕
A-7 感染防止対策加算1を算定していますか	〔はい・いいえ〕
A-8 感染防止対策加算2を算定していますか	〔はい・いいえ〕
B. 感染対策委員会がありますか	〔はい・いいえ〕
C. 実際に感染対策業務を遂行する感染制御チーム（ICT）についてお尋ねします	
C-1 病院にICTがありますか	〔はい・いいえ〕
C-2 “はい”と答えられた方にお尋ねします。ICT委員会の開催頻度を教えてください	〔 〕回／年
C-3 “はい”と答えられた方にお尋ねします。ICTの構成員数を教えてください	医師〔 〕人 看護師〔 〕人 薬剤師〔 〕人 検査技師〔 〕人 放射線技師〔 〕人 栄養士〔 〕人 事務部職員〔 〕人 その他〔 〕人
D. 感染症サーベイランスについてお尋ねします	
D-1 MRSA 検出数を把握していますか	〔はい・いいえ〕
D-2 MRSA 感染症患者数を把握していますか	〔はい・いいえ〕
D-3 他の多剤耐性菌検出数を把握していますか	〔はい・いいえ〕
D-4 “はい”と答えられた方にお尋ねします。把握している耐性菌の菌名をお教え下さい	〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕
D-5. 下記の抗菌薬の使用量サーベイランスを行っていますか	
D-5-1. バンコマイシン	〔はい・いいえ〕
D-5-2. ティコプラニン（タゴシッド®）	〔はい・いいえ〕
D-5-3. アルベカシン（ハベカシン®など）	〔はい・いいえ〕
D-5-4. カルバペネム系薬剤のどれか	〔はい・いいえ〕
D-5-5 その他 薬剤名をお書きください（ ）	〔 〕

2/3	
D-6. 抗菌薬使用に関する制限を行っていますか	
D-6-1. “はい”と答えられた方にお尋ねします。方法をお教え下さい〔認可制・届出制〕	〔はい・いいえ〕
D-6-2. “はい”と答えられた方にお尋ねします。行っている抗菌薬をお教え下さい	〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕
D-7. 下記の対象限定サーベイランスを行っていますか	
C-7-1. 血管留置カテーテル関連血流感染	〔はい・いいえ・対象者なし〕
C-7-2. 尿路カテーテル関連尿路感染	〔はい・いいえ・対象者なし〕
C-7-3. 人工呼吸器関連肺炎	〔はい・いいえ・対象者なし〕
C-7-4. 手術部位感染	〔はい・いいえ・対象者なし〕
E. 細菌学的検査についてお尋ねします	
E-1 院内で細菌の塗抹グラム染色をしていますか	〔はい・いいえ〕
E-2 “はい”と答えられた方にお尋ねします。主に誰がしていますか。〔検査技師・医師・両者〕	〔 〕
E-3 細菌培養は院内で行っていますか	〔はい・いいえ〕
E-4 “いいえ”と答えられた方にお尋ねします。外注している検査機関名を教えてください	〔 〕
F. 感染対策マニュアルはありますか	
F-1 “はい”と答えられた方にお尋ねします	〔はい・いいえ〕
感染対策マニュアルの改訂は何年ごとに行っていますか	
〔〔 〕年毎・特に決まっていない〕	
G. 職員の感染症発生予防についてお尋ねします	
G-1 麻疹・風疹・水痘・ムンプスの抗体面検査を行っていますか	〔はい・いいえ〕
G-2 行っている場合、実施した職員の経費はどうしていますか〔無償・一部有償・全額有償〕	〔 〕
G-3 麻疹・風疹・水痘・ムンプスのワクチン接種を行っていますか	〔はい・いいえ〕
G-4 行っている場合、実施した職員の経費はどうしていますか〔無償・一部有償・全額有償〕	〔 〕
G-5 インフルエンザワクチン接種を行っていますか	〔はい・いいえ〕
G-6 行っている場合、実施した職員の経費はどうしていますか〔無償・一部有償・全額有償〕	〔 〕
G-7 B型肝炎ウイルスワクチン接種を行っていますか	〔はい・いいえ〕
G-8 行っている場合、実施した職員の経費はどうしていますか〔無償・一部有償・全額有償〕	〔 〕
H. 院内感染対策のための病棟ラウンドを行っていますか	
H-1. “はい”と答えられた方にお尋ねします。頻度をお教え下さい	〔はい・いいえ〕
〔週1回以上、月1回以上、非定期〕	
H-2. “はい”と答えられた方にお尋ねします。	
平均的なラウンド参加メンバー数をお教え下さい	
医師〔 〕人 看護師〔 〕人 薬剤師〔 〕人 検査技師〔 〕人 放射線技師〔 〕人 栄養士〔 〕人 事務部職員〔 〕人 その他〔 〕人	
H-3. “はい”と答えられた方にお尋ねします。特定の患者をラウンド対象とする場合、その抽出方法をお教え下さい	
〔 〕 〔 〕 〔 〕	

3/3	
J. 下記の器材・方法をほとんどの病棟・外来で採用していますか	
J-1. アルコール製剤式手指消毒剤	〔はい・いいえ〕
J-2. 使い捨てのビニールエプロン	〔はい・いいえ〕
J-3. 除毛用クリッパー	〔はい・いいえ・対象者なし〕
J-4. 閉鎖式導尿バッグ	〔はい・いいえ・対象者なし〕
J-5. 創部閉鎖式ドレーン	〔はい・いいえ・対象者なし〕
J-6. 採血時の手袋着用	〔はい・いいえ〕
J-7. 中心静脈カテーテル挿入時の高度バリアブレイク	〔はい・いいえ・対象者なし〕
J-8. 安全機能付き留置針	〔はい・いいえ〕
J-9. 安全機能付き翼状針	〔はい・いいえ〕
J-10. 注射針回収容器	〔はい・いいえ〕
J-11. N-95 マスク	〔はい・いいえ〕
J-12. 単包化アルコール綿	〔はい・いいえ〕
J-13. 携帯用手指消毒薬やジェル製剤	〔はい・いいえ〕
J-14. 閉鎖式人工呼吸器回路および閉鎖式吸引カテーテル	〔はい・いいえ〕
K. 看護師の感染対策活動についてお尋ねします（複数回答可）	
K-1. 専任の感染対策担当看護師が活動している	〔 〕
K-2. 兼任の感染対策担当看護師が活動している	〔 〕
L. Kで1と答えられた方にお尋ねします。	
主な業務をお教え下さい（複数回答可）	
L-1. 教育	
L-2. 相談（コンサルテーション）	
L-3. マニュアル作成・改訂	
L-4. サーベイランス	
L-5. その他〔 〕	
M. Kで2と答えられた方にお尋ねします	
M-1. 主な業務をお教え下さい（複数回答可）	〔 〕
1. 教育	
2. 相談（コンサルテーション）	
3. マニュアル作成	
4. サーベイランス	
5. その他〔 〕	
M-2. 活動時間についてお尋ねします（複数回答可）	〔 〕
1. 勤務の80%以上を活動に割り当てられる。	
2. 勤務の60%～80%を活動に割り当てられる。	
3. 勤務の40%～60%を活動に割り当てられる。	
4. 勤務の20%～40%を活動に割り当てられる。	
5. 活動はすべて勤務外である。	
N. このアンケートは今年で8回目です。	
1. 平成23年度、返事を出されましたか	〔はい・いいえ・不明〕
2. 平成24年度、返事を出されましたか	〔はい・いいえ・不明〕
ご協力誠にありがとうございました。	

鹿児島地域における病院感染対策に関するアンケート結果

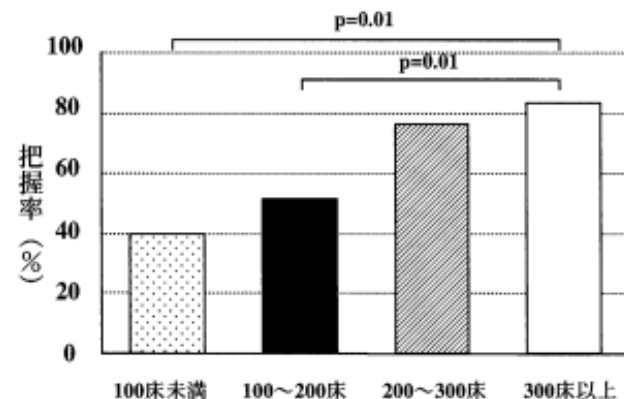


図2 MRSA 以外の多剤耐性菌の把握率

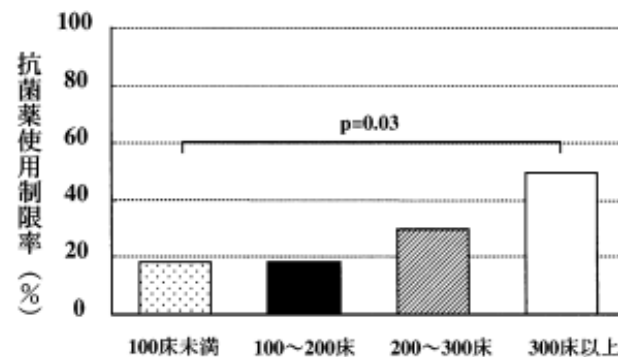


図4 抗菌薬の使用制限率
100床未満と300床以上の間で使用制限率に差を認めた。

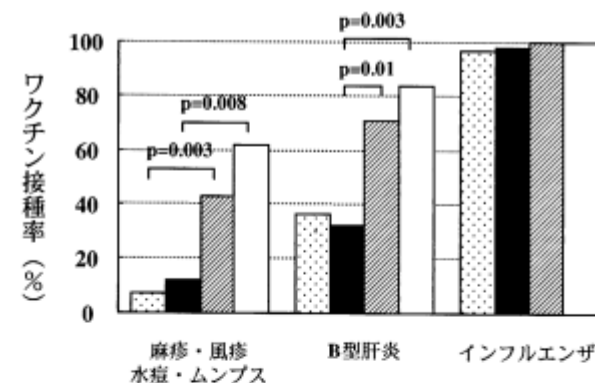


図6 ワクチン接種率
4種のウイルス疾患に対するワクチン接種率およびB型肝炎ワクチン接種率は病院規模間で著明な有意差を示した。棒グラフの説明は図3と同じ

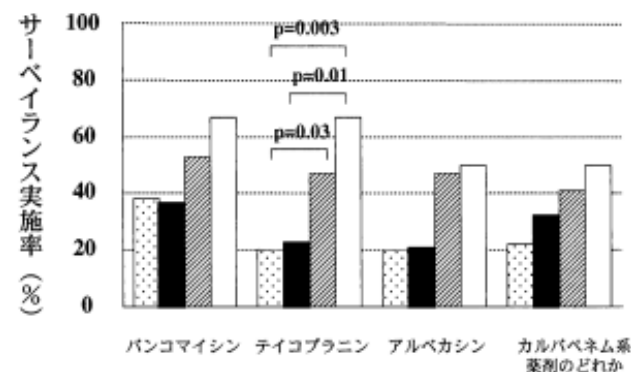


図3 抗菌薬使用量のサーベイランス実施
テイコプラニンにのみ病床規模による有意差を認めた。
□100床未満 ■100~200床 ▨200~300床 □300床以上

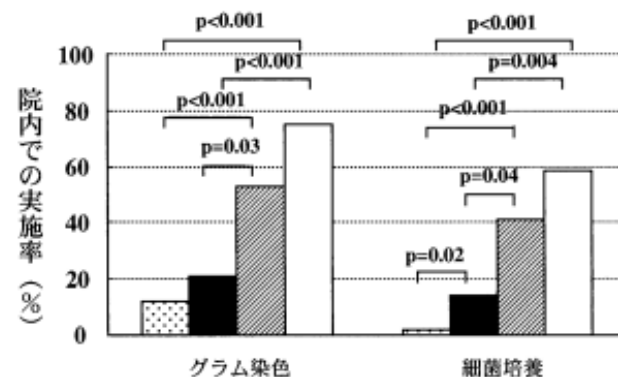


図5 院内でのグラム染色と細菌培養実施率
病院規模間で著明な有意差を認めた。棒グラフの説明は図3と同じ

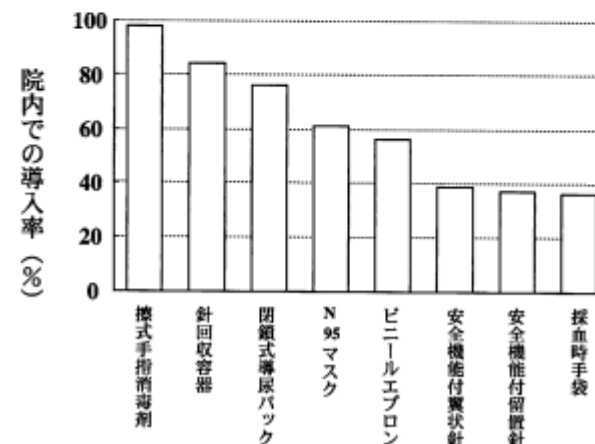
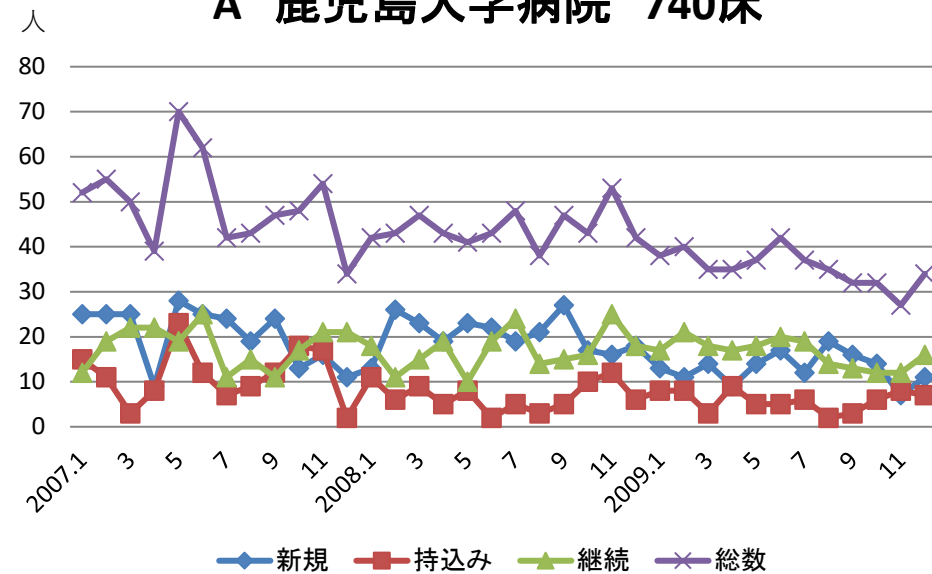


図7 感染対策の院内での導入率
感染予防対策の導入率には対策内容毎に大きな差を認めた。

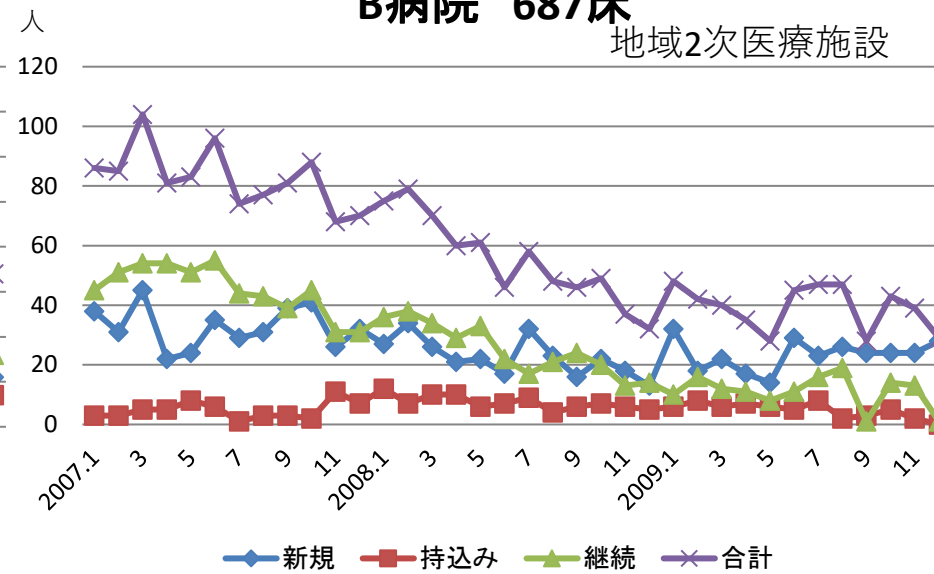
MRSA検出入院患者の多施設調査（2007-2009）

A 鹿児島大学病院 740床

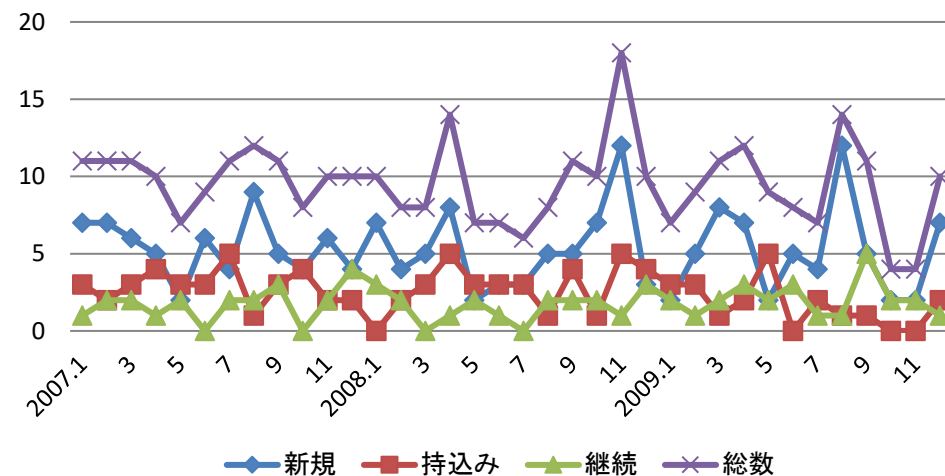


B病院 687床

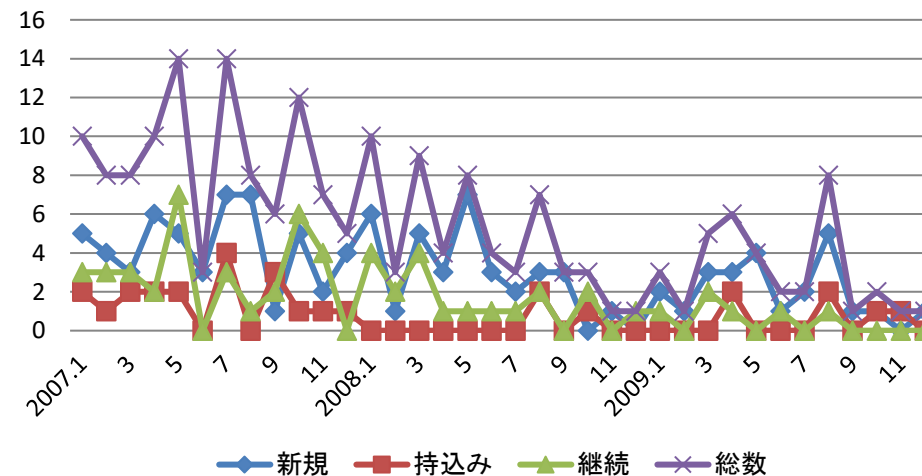
地域2次医療施設



F病院 254床



J病院 220床



鹿児島ICTネットワークから鹿児島感染制御ネットワークへ

年月	イベント
2015/4	鹿児島感染制御サーベイランス（KICS）
2015/5	介護・福祉向け感染対策セミナー（KICT主催）
2015/6	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）研修会（KICT主催）
2015/9	救急隊員の感染対策に関するアンケート
2016/4-5	熊本地震に伴う感染対策JMATへの協力
2017	鹿児島感染制御ネットワークへ改名
2018/8	南九州での <i>Salmonella</i> Oranienburg菌血症多発事例
2019/12	鹿児島医師会医療関連感染対策研修会で「認知症患者の感染対策」
2020～2023	COVID-19パンデミック
2020	鹿児島県医師会COVID-19相談窓口（川村英樹先生他）
2020/4	精神科病院における感染対策に関するアンケート（新里研吾先生）
2023	事務局 鹿児島大学病院感染制御部
2024	KICNetホームページの整備
2024	抗菌薬サーベイランスのJ-SIPHE 感染対策連携共通プラットフォームへの移行

熊本地震に伴う感染対策JMATへの協力

敬称略

日程	参加者	訪問地
4/21～4/23	徳田浩一（鹿児島大学病院 医療環境安全部） 鳥越玉美*（出水郡医師会広域医療センター）	宇土市
4/23～4/25	川村英樹（鹿児島大学病院 医療環境安全部） 小川 信（国保大和診療所） 吉森みゆき*（今村病院分院）	宇土市
4/25～4/26	徳田浩一（鹿児島大学病院 医療環境安全部） 吉満桂子*（感染管理認定看護師）	宇土市、益城町
4/27～4/29	宮原広典（JA 鹿児島県厚生連健康管理センター） 立和名聖子*（今給黎総合病院）	宇土市
4/29～5/1	松尾敏明（小田代病院 内科） 川村英樹（鹿児島大学病院 医療環境安全部） 土屋香代子*（鹿児島市立病院）	宇土市

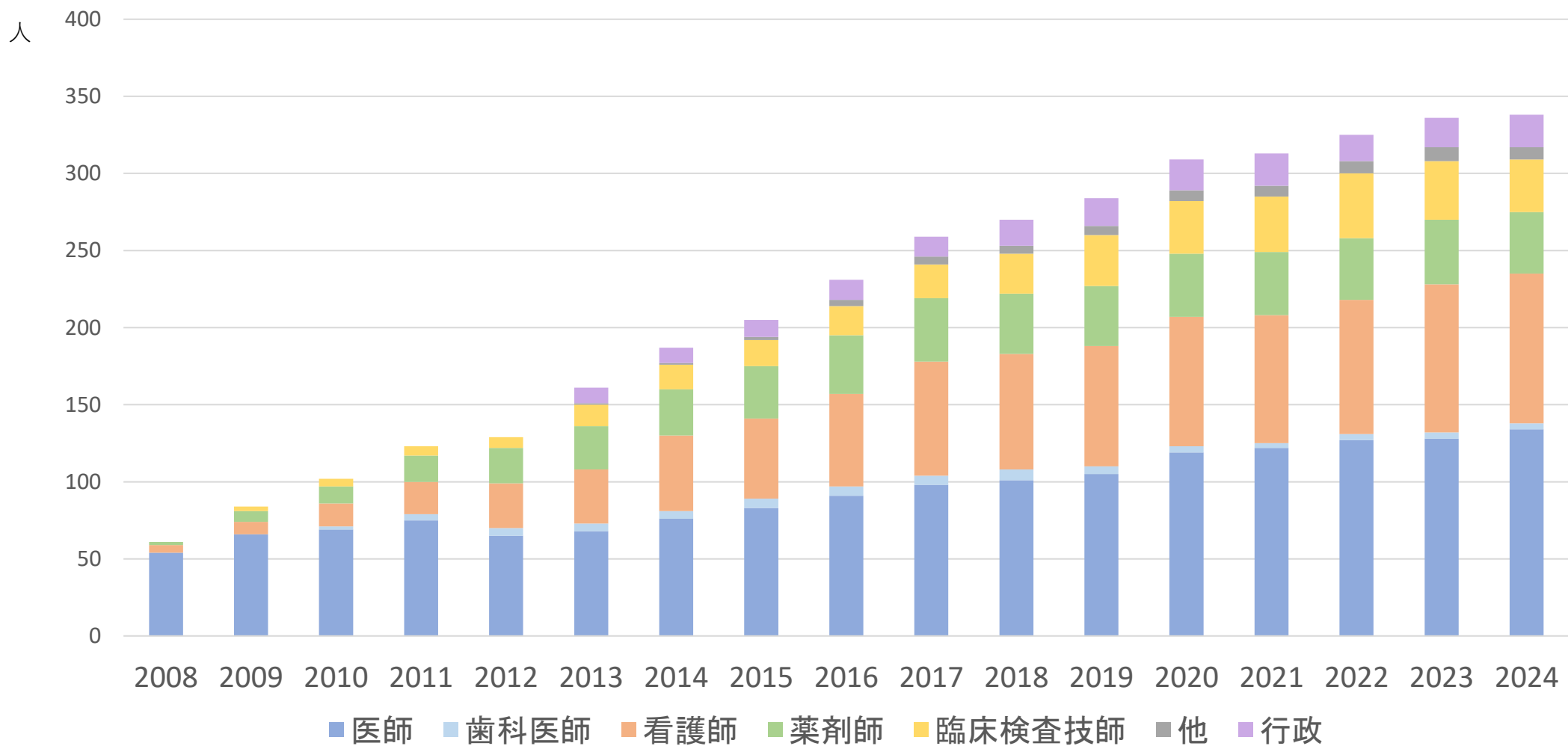
*感染管理認定看護師

学術講演会の特別講演

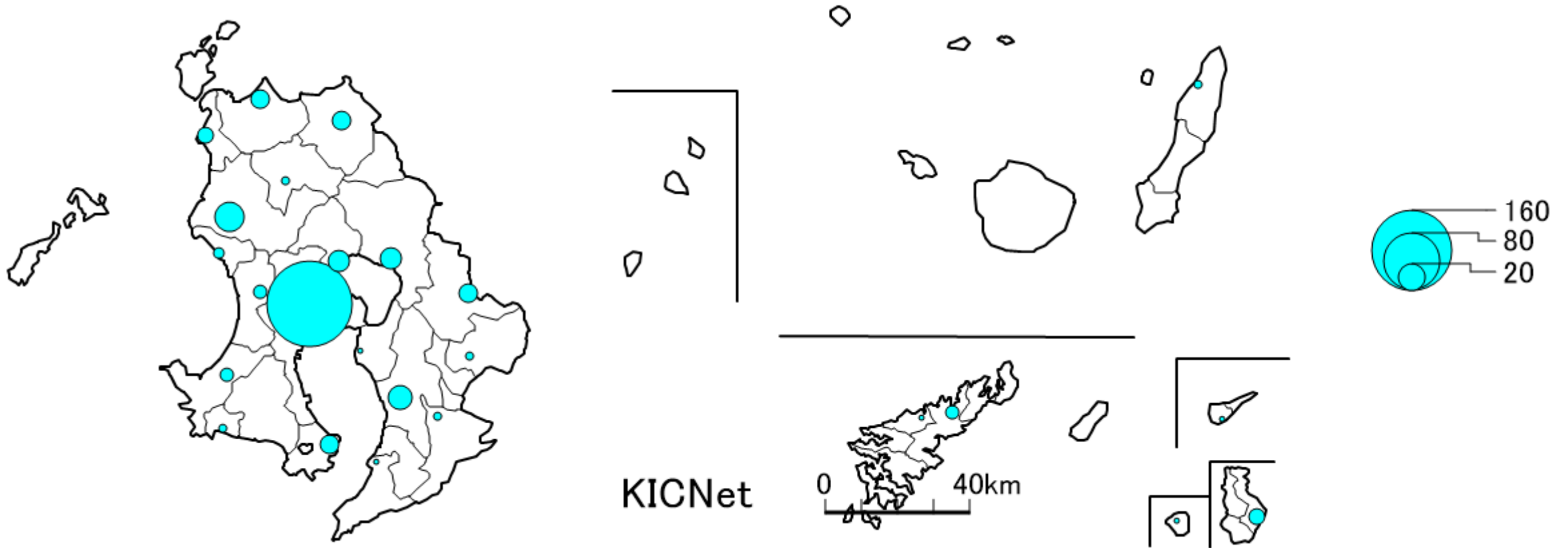
回	年月	演者	演題
第1回	2004年7月	賀来満夫	院内感染対策のパラダイムシフト～感染対策地域ネットワーク構築の重要性と今後の課題～
第2回	2005年3月	萱場広之	多剤耐性菌アウトブレイクの教訓－形式的マニュアルの落とし穴－
		茆原順一	院内感染の対応と対策－秋田大学の事例を中心に－
第3回	2005年11月	國島広之	感染対策の基本と地域ネットワーク
第4回	2006年3月	朝野和典	院内感染対策の新しい方向性
第5回	2006年9月	渡會伸治	横浜市大病院における院内感染対策とその現状
第6回	2007年2月	菊池 賢	最近の耐性菌事情
第7回	2007年10月	高倉俊二	抗菌薬適正使用と院内感染予防策の結びつき-“不都合な真実”を見る目-
第8回	2008年3月	谷口初美	感染制御の地域連携システム-KRICT活動の紹介-
第9回	2008年9月	竹末芳生	専任スタッフによる全病院的な感染制御への挑戦
第10回	2009年4月	辻 明良	感染制御の基礎　－消毒の基礎と実際－
第11回	2009年12月	青木 洋介	感染制御のPK-PD: 機能する感染対策とは
第12回	2010年4月	池 康嘉	重症感染症の新たな治療戦略 －カルバペネム薬の質的差異と耐性菌制御－
第13回	2010年10月	河合 直樹	インフルエンザ診療の最近の動向
第14回	2011年4月	矢野 邦夫	感染対策の重要ポイント～多剤耐性菌対策も含めて～
第15回	2011年11月	徳田 浩一	東日本大震災時の感染対策
第16回	2012年4月	八木 哲也	高齢者施設における感染対策のポイント －誤嚥性肺炎対策も含めて－
第17回	2012年10月	川畑 政治	南九州病院における結核診療の現状と結核院内感染対策の課題について
第18回	2013年4月	岩松 洋一	地域における感染症対策(保健所の立場から)
		西 順一郎	医療関連感染のリスクマネジメント
第19回	2013年11月	村上 啓雄	医療関連感染対策～望ましい地域連携のあり方
第20回	2014年4月	森兼 啓太	感染対策におけるサーベイランスの有用性

回	年月	演者	演題
第21回	2014年11月	尾家 重治	快適で衛生的な病院環境を保つために
第22回	2015年4月	鈴木 里和	JANIS事業からみる日本の薬剤耐性菌と病院疫学
第23回	2015年10月	関 雅文	抗菌薬使用と感染制御の最近の考え方 ～インフルエンザを含めて～
第24回	2016年4月	荒川 創一	感染症を巡る異なる2つの話題-抗菌薬適正使用プログラム/性感染症を目で見る-
第25回	2016年10月	加藤 ハル	クロストリジウム・ディフィシル感染症、 知ってるつもりで、知らないこと
第26回	2017年5月	飯沼 由嗣	皆で取り組む院内感染対策～PDCAが回る組織作りへ～
第27回	2017年10月	舘田 一博	AMR時代に求められる抗菌薬適正使用による院内感染対策
第28回	2018年5月	松元 一明	個別最適化投与方法と薬物相互作用の観点から考える 抗菌薬の使い方
第29回	2018年10月	堀 賢	手指衛生遵守率向上に取り組むための秘訣
第30回	2019年5月	田辺 正樹	今求められている感染対策・AMR対策～病院内での 取り組みから地域連携へ～
第31回	2019年10月	渡邊 浩	わが国における輸入感染症の現状と対応
第32回	2020年10月	大毛 宏喜	新興感染症時代の感染対策
第33回	2021年5月	神谷 元	COVID-19に対する積極的疫学調査～現場の経験から～
第34回	2021年11月	藤田 次郎	院内感染対策の視点で見た呼吸器ウイルス感染症～ インフルエンザとCOVID -19 を中心に～
第35回	2022年5月	高山義浩	感染症に強い地域社会をめざして コロナ危機の夜明け
第36回	2022年11月	忽那 賢志	COVID-19 アップデート
第37回	2023年5月	具 芳明	AMR対策と抗菌薬適正使用
第38回	2023年12月	三崎 貴子	感染対策における地域ネットワーク 医療機関と行政との連携
第39回	2024年6月	大毛 宏喜	周術期感染対策の現状と課題
第40回	2024年12月	掛屋 弘	求められる感染制御～地域で取り組むAMR対策～

鹿児島感染制御ネットワーク会員数の推移



市町村別の会員分布



入会資格

1. 感染制御に関する資格を有する医療従事者
2. 施設の感染制御業務を担当している医療従事者で、施設長の文書による承諾がある者
3. その他幹事会が認める者

個人の資格で入会（会費無料）
学術講演会参加時のみ1000円

医療施設の感染対策の実情や個人情報などの
情報管理に配慮が必要なことによる一定の制限



鹿児島感染制御ネットワークは、
県内の医療機関の感染制御従事者の交流と
院内感染対策のレベル向上を目的とした
地域ネットワークです。



鹿児島感染制御ネットワークの役割

県内の医療機関の感染制御従事者の交流と
院内感染対策のレベル向上を目的とした地域ネットワーク

院内感染対策

介護・福祉施設の感染対策

新興・再興感染症対策

薬剤耐性（AMR）対策

感染制御従事者の顔の見えるつながりを大切に、これからのさらなる発展を期待しています